



本社社屋とメッセージ

- 本社所在地：鹿児島県
鹿児島市卸本町5-29
- 事業概要：各種分析用 試薬品・機器
販売、農業資材・環境装置
製造販売
- 常時使用する従業員：51名
(グループ全体 2025年4月時点)
- 現在の売上高：51億円
(グループ全体 2024年12月期)
- 法人番号：3340001003865
- Web：https://hm-inc.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
寶来 豊晴

不要なものを特異な技術で有用に変換

日本古来のモットイナイ精神をもとに、世の中の不要と言われる有機廃棄物をエネルギーをかけて捨てるのではなく、特異な技術力で効率的に加工することで、結う様なものに変えることにより、世界をきれいにしていくことに貢献します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高達成に向け、年率平均8%程度の成長を目指す。そこには新規事業として各種畜糞を炭化した土壌改良剤、タイヤ、プラスチックなどを炭化処理したバイオコール燃料の製造販売を行うことでトータルのCO2削減にも貢献しつつ、多額の処理費削減と資源製造の利益を見込む。

課題

大量処理の炭化装置の導入が必要。現時点でも全国に多くの有機廃棄物があり、高コストで処理しているがそのコストを大きくした回せるためには大型の炭化処理の導入が必要となる。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

大型設備投資による生産体制増強、とりあえず国内の石炭代替燃料の需要マーケティング、各種協力企業の発掘、成功事例の展開による装置の販売による利益も予定。
国の推進する有機農業に対し安心安全安定的な資材の供給体制。カーボנקレジットを目指している企業に対しコストパフォーマンスの優れた石炭代替燃料の供給を推進する。

実施体制

有機物変換加工事業の専門チームを立ち上げそれぞれの有機物の特性に沿った単価加工を行う。ここには現在の当社の主力事業を生かした各種分析業務も含む。
それとは別に需要家の掘り起こしなどマーケティング営業部隊の設置も並行しておこなう。

売上高100億円実現目標とグループ体制

宝来メデックグループにおいてその中心である宝来メデック株式会社は体外診断薬および機器設備と各種分析用試薬、器材、機器設備等を販売する商社です。5年ほど前から世界的環境問題に対しての何かしらの貢献ができないかを模索していたところ、南九州の特徴である農業畜産に関する事業を関連会社の明宝技研株式会社でスタートしました。この分野において明宝技研は特徴的バクテリアを用いたJAS有機認定の液体肥料、畜糞堆肥の製造を行い事業の拡充を図ってまいりました。

更に宝来メデック株式会社では社会環境問題を見据え、有機物(特に有償廃棄されている有機物)を燃料化するべく研究開発を進めてまいりました。その中にはガス、オイル、固形燃料があり特に取り扱いの簡易な炭化固形燃料に照準を定めて事業の拡大を目指すこととなりました。

当初は炭化処理による燃料の製造、土壌改良剤の製造を推進していきますが、その後はその実績をもとにプラント企業の協力を得て、装置プラントの販売も手掛けていく体制づくりの準備が整ってきました。

有機JAS肥料事業も炭化固形燃料事業も将来的にはワールドワイドでの需要も見込め、日本製の機器・資材として各国の環境エネルギー問題解決に貢献できればと挑戦を続けます。

売上高

